



江東区文化プログラム
KOTO CITY CULTURAL PROGRAM



新内節は江戸浄瑠璃の一つで、鶴賀若狭掾の門弟・二代目鶴賀新内の美声が一世を風靡したことから新内節と呼ばれるようになりました。初期には歌舞伎にも出演していましたが、やがて寄席や流しを中心とし独自の発展をとげました。切々たる哀調を特徴とし、唄も三味線も泣くような弾き語りには江戸庶民の語り物として歓迎されました。

新内多賀太夫プロフィール

新内仲三郎氏の長男。6歳より父・仲三郎氏に三味線を習い始める。
平成13年日・中・韓三都市による「BeSeTo」演劇祭に日本代表として、「風に立つ仲三郎」に出演。
平成23年3月東京藝術大学大学院音楽研究科博士課程修了。在学中、常英賞受賞。

2019年

12/14(土)

14:00~15:00

《会場》 常設展示室 火の見櫓前

《入場料》 大人 400円・小中学生 50円
(常設展示室観覧料を含む)

*中学生以下の方は保護者同伴でご入場ください。

江戸庶民の語り物 新内流し



出演 新内多賀太夫ほか

深川江戸資料館

伝統芸能公開



見立評判記_市村かきつ(深川江戸資料館蔵)

江東区深川江戸資料館

江東区白河1-3-28

03-3630-8625

交通 都営地下鉄大江戸線・東京メトロ半蔵門線
「清澄白河」駅 A3出口より徒歩3分

主催:公益財団法人江東区文化コミュニティ財団

